

令和6年村上市教育委員会9月定例会会議録

○ 日 時

令和6年9月24日（火）午後3時30分 開会

○ 場 所

教育情報センター2階 会議室

○ 出席委員

遠 藤 友 春	教育長
横 山 吉 夫	委員（教育長職務代理者）
大 滝 豊	委員
板 垣 英 樹	委員
小 川 涼 子	委員

○ 欠席委員

なし

○ 出席した事務局職員

学校教育課長	小 川 智 也
学校教育課 管理主事	仙 田 満
〃 指導主事	木 村 博
〃 指導主事	高 橋 真 徳
〃 参事	今 井 雅 仁
〃 教育総務室長	鈴 木 祐 輔
〃 未来の学校創造室長	中 山 晴 剛
生涯学習課長	平 山 祐 子
生涯学習課 社会教育推進室長	片 岡 昌 幸
〃 スポーツ推進室長	佐 藤 克 也
〃 スポーツ推進室主幹	菅 原 和 英
〃 文化行政推進室長	吉 井 雅 勇
〃 教育情報センター長	加 藤 涉
村上教育事務所長	浅 野 宏
山北教育事務所長	本 間 宏

○ 欠席した事務局職員

荒川教育事務所長	百 武 靖 之
----------	---------

神林教育事務所長
朝日教育事務所長

田 村 富 夫
本 間 憲 一

○ 書 記

学校教育課 教育総務室長 鈴 木 祐 輔

○ 会議に付した議件等

- ・ 会議録署名委員の指名について
- ・ 8 月定例会会議録の確認について
- ・ 報第 7 号 一般報告事項について
- ・ 議第 26 号 令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について
- ・ 議第 27 号 専決処分の承認を求めることについて

遠藤教育長

午後 3 時 30 分開会宣言

遠藤教育長

ただいまより、令和 6 年度 9 月定例教育委員会を開会します。初めに私のほうから一言ご挨拶させていただきます。

本日は、協議事項に「本市の小・中学校の学力」に関することがありますので、学力向上に向けた話題をお話させていただきます。毎年 4 月に実施される全国学力・学習状況調査の結果が届き、本市の結果とその分析、対策についてこの時期公表しております。ご存じのとおり、この調査は、小学校 6 年生と中学校 3 年生の二つの学年を対象とした結果でしかありませんが、全国の学力指標としては話題性もあり一番大切に扱われ、都道府県別に結果が公表されています。

後ほど、今年度の結果について指導主事から詳細を説明させていただきますが、小学校の国語を除いて、残念ながら思わしくない状況でした。私は決して、全国の平均正答率を大きく上回る好成績をとってほしいと願っているわけではありません。二つの学年とも小・中学校の最終学年なので、それぞれ 6 年間、3 年間の学習の積み重ねとして、ある程度の成果を継続して残してほしいと願っているのです。

以前、耳にした話ですが、それぞれの教科で全国平均正答率より 5 ポイント以上下回っている場合は、もはや公立学校の体をなしていないと言うのです。ちょっと大げさに聞こえますが、平均値を下回るにしても下回り方が問題なのです。毎年、著しく下回っているというわけではありませんが、特に今年度の本市の中学校の状況は大変深刻だと受け止めています。教育委員会、学校は強い危機感を持たねばなり

ません。保護者や地域に対して学校としての責務を果たしていないと思われるからです。

学力が定着していない状況は、残念ながら、第3次村上市教育基本計画の成果指標に掲げられている標準学力検査NRTの結果にも明確に現れています。このままでは令和8年度に達成したい目標値にたどり着くのは非常に難しいと予想されます。NRT検査は小・中学校の全学年で実施しておりますが、これまで小学校低学年でかなり高い平均偏差値を獲得しており、学年が進むにつれ、学習の困難度が高まるので徐々に低下していく傾向がありました。しかし、昨年度から低学年時から平均偏差値の低い状況が見られるようになり、今後学年が進むにつれますます落ち込むのではないかと危惧しているところです。もちろん、学校間の差はありますが、特に中学校区で現状を分析し、真剣に対策を講じてもらいたいと願っております。

教育委員会としても、「学習指導に係る学校訪問」を一律に実施するのではなく、心配な状況下にある中学校区を重点的に訪問し、無理強いしない程度で教員に授業改善を促していく必要があると考えます。

また、既に作成している「幼保小架け橋カリキュラム」を有効活用できるよう園や学校に働きかけ、幼稚園や保育園で学んできたことを小学校低学年で尊重し、意図的に学びをつないでいくことがこれまで以上に求められているのではないかと考えます。

そして何より、学校や教室がすべての子どもたちにとって安心して学ぶことのできる環境、分からないこと困ったこと、ちょっとしたつまずきを友達や先生に気兼ねなく尋ねることのできる環境、尋ねられた人は面倒がったり馬鹿にしたり後回ししたりすることなく、そっと寄り添いすぐに相談にのってやることのできる環境を作り上げることが、必ずや学力向上にも結び付くと信じております。様々な子どもたちがいるわけですから、互いに上手に関わり合うことは難しいのですが、学校生活の大半を占める授業の場で、皆が安心して学習に励むことができ、伸びを感じ合えるようになってほしいと願っております。それでは、本日もよろしくお願いいたします。

・会議録署名委員の指名について

遠藤教育長

それでは、会議録署名委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

遠藤教育長 会議録署名委員は、大滝委員と小川委員をお願いします。

・ 8 月定例会会議録の確認について

遠藤教育長 8 月定例会会議録について確認します。各委員には自分の発言が漏れていないか、表現が違わないか確認していただきます。

遠藤教育長 8 月定例会会議録について何かございますか。

横山委員 差し替えが届いたが、差し替え箇所を教えて欲しい。

教育総務室長 7 ページの学校教育課参事の部活動の地域移行に関する発言の中で、前回の合同検討会の参加者数のところが約 180 名と印字されておりましたが、正しくは約 80 名でしたので、そこを訂正させていただきました。

遠藤教育長 7 ページ、学校教育課参事の上から 4 行目、前回、約 180 名から約 80 名に訂正したということですね。

教育総務室長 はい。

横山委員 ありがとうございました。

遠藤教育長 8 月定例会会議録は確認されました。

・ 報第 7 号 一般報告事項について

遠藤教育長 報第 7 号について上程します。

最初に私から、一般報告事項を報告させていただきます。

8 月 15 日、二十歳のつどい、大須戸能薪能、出席。19 日、市役所での人権キャラバンの訪問、出席。21 日、わたしの主張大会、出席。22 日、広島訪問した中学生による市長表敬訪問報告会、出席。第 2 回平林城跡整備委員会、出席。25 日、市防災訓練。27 日、教育委員会定例会。小川小・朝日みどり小統合合同検討会、出席。30 日、市校長会議。村上第一中学校・村上東中学校統合合同検討会、出席。9 月 1 日、米

国空軍コンサート、参加。7日、水牛舎主催歴史講演会、参加。以上、報告させていただきました。

遠藤教育長 学校教育課長、お願いします。

学校教育課長 学校教育課の一般報告事項等について報告する。

社会教育推進室長 社会教育推進室の一般報告事項等について報告する。

スポーツ推進室長 スポーツ推進室の一般報告事項等について報告する。

スポーツ推進室主幹 スケートパークの一般報告事項等について報告する。

文化行政推進室長 文化行政推進室の一般報告事項等について報告する。

教育情報センター長 教育情報センターの一般報告事項等について報告する。

遠藤教育長 それでは学校教育課、生涯学習課の報告事項について質疑等がありましたらお願いします。

遠藤教育長 何かご意見ありますでしょうか。
(意見無し)

遠藤教育長 それでは報第7号の一般報告事項は了承されました。

・議第26号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

遠藤教育長 次に、議第26号について上程します。説明をお願いします。

高橋指導主事 令和6年度全国学力学習状況調査の結果についてお話いたします。
なおこの資料は本定例会でご承認いただいた後、村上市のホームページに掲載して公表いたします。

1、本調査の目的は三つあります。一つは、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を

図る。二つ目は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。三つ目は継続的な検証改善サイクルの確立です。

2、調査対象は小学校6学年と中学校3学年です。

3、調査内容につきましては記載の通りです。

4、それでは結果について報告します。(1) 平均正答率です。令和6年度調査の平均正答率は、このページの下の表の通りです。参考までにその上に過去の調査結果を載せました。

ア、小学校です。詳細については、皆さんにお配りした追加資料の1から4を参照してください。国語は全国と同程度でした。正答数分布は上位層、中位層、下位層と全国並みでした。学習指導要領の内容別では、知識及び技能における言葉の特徴や使い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項、思考力判断力表現力等における読むことなどが全国を上回りました。一方で、知識及び技能における情報の扱い方に関する事項、思考力判断力表現力等における話すことを聞くことが全国を下回りました。問題形式別では、全国と比べ「短答式」「記述式」が上回り、「選択式」が下回りました。問題別では、半数以上の問題で全国を上回りました。特に主語と述語との関係をとらえることができるかをみる問題、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる問題の平均正答率が高かったです。一方で、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるような表現を工夫することができるかをみる問題、話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができるかをみる問題などで課題が見られました。次に算数です。この資料を作成した後に、下越教育事務所から数値についての表現の説明がありましたので、それに合わせてここの記述を若干修正させていただきます。算数の平均正答率なのですが、プラスマイナス、3%以上は大きくという表現を下越管内は使うという説明でしたので、ここを大きく下回りました、としていただければと思います。続けます。正答数分布は全国と比べて上位層が少なく、下階層が多かったです。学習指導要領の領域別では、数と計算図形変化と関係データの活用のすべてが全国を下回りました。問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」のすべてが全国を下回りました。問題別ではほとんどの問題で、全国を下回りました。特に問題場面の数量の関係をとらえ、式に表すことができるかをみる問題、速さについて時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかをみる問題、速さの意味について理解しているかをみる問題で課題が見られました。

イ、中学校です。詳細については追加資料の5から8をご参照くださ

い。市の国語の平均正答率ですが、こちらでも3%以上ですので、全国を大きく下回りました。ご訂正をお願いします。正答数分布では全国と比べて上位層が少なく、下位層が多かったです。学習指導要領の領域別では、知識及び技能、思考力判断力表現力等ともに全国を下回りました。特に知識及び技能における我が国の言語文化に関する事項や、思考力判断力表現力等における「書くこと」などに、全国との大きな差が見られました。問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」のすべてが全国を下回り、特に「記述式」に全国との大きな差が見られました。問題別ではすべての問題が全国を下回りました。特に、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫ができているかをみる問題、他者の発言と結びつけて、自分の考えをまとめることができるかをみる問題、両者の特徴を理解しているかをみる問題などに、全国との大きな差が見られました。また、記述式の問題の無解答率が全国と比べて高いものでした。次に数学です。数学の平均正答率は、ここも全国を大きく下回るに訂正をお願いします。

遠藤教育長

資料には算数と書いてあるけど数学に訂正ですね。

高橋指導主事

数学でした。2番数学に訂正をお願いします。

問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」はすべてが全国を下回りました。特に「短答式」「記述式」で、全国との大きな差が見られました。問題別ではすべての問題で全国を下回りました。特に等式を目的に応じて変形することができるかをみる問題、文字を用いて式で表すことができるかをみる問題、式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかをみる問題などに、全国との大きな差が見られました。また「記述式」の問題の無回答率が全国と比べて高いものでした。以上から今後取り組むべき課題の一つ目として、資質・能力を確実に育成するための授業改善を設定しました。次に、(2) 学校別平均正答率についてです。詳細については追加資料の10をご覧ください。小学校では国語において全国を上回ったのは13校中6校で、最大学校間差は22ポイントでした。算数において全国を上回ったのは13校中2校で、算数の最大学校間差は25ポイントでした。中学校では国語において全国を上回ったのが7校中1校で、最大学校間差は15ポイント。数学においては、全国を上回ったのが7校中2校で、最大学校間差が26ポイントでした。以上から、今後取り組むべき課題の二つ目として、学校間差の解消を設定しました。次に(3) ICT利活用についてです。詳細については追加資料

12、13をご覧ください。これは児童生徒質問紙の結果を基にしています。今年度から質問項目が若干変更となりました。授業において ICT 機器をほぼ毎日利活用している割合は、小・中学校ともに全国平均よりも高い結果になりました。小・中学校の授業において、ICT 機器の利活用が進められていると推察します。以上から今後取り組むべき課題の三つ目として、ICT 機器の日常的な活用を設定しました。次に（４）家庭学習です。こちらも児童生徒質問紙の結果を基にしています。詳細については、同じく追加資料 12、13 をご覧ください。小学校では学校の授業以外に、１日当たり１時間以上学習する児童の割合は全国を上回りました。一方で２時間以上学習する割合は全国を下回りました。中学校では、１日当たり１時間以上学習する生徒の割合も２時間以上学習する生徒の割合も全国を下回りました。以上から今後取り組むべき課題の四つ目として、家庭学習の時間と内容の改善を設定しました。最後に、これらの課題を受けた今後の取り組みについてお話をします。

（１）課題１の解決に向けて、児童生徒が集中して学習することができる環境づくりを推進します。また、市や各学校において、学力の実態を把握し、それに基づいた手だてを共有することで、授業改善につなげます。さらに、主体的対話的で深い学びの実現に向けて、村上市の授業づくりを土台とした授業改善の取り組みを継続します。特に学習課題を自分ごととしてとらえ粘り強く取り組むこと、学習課題に対する自分の考えや授業内容の振り返りを文章にして書くことを重視していきます。基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、それに基づいた活用にかかる時間の確保を全校体制で推進します。外国語の授業においては、特に英語を介して教師や児童生徒とコミュニケーションをとることができるように、学習活動を工夫します。小・中学校が連携し、指導内容や方法の共有を図ります。小・中学校ともに、国立教育政策研究所、全国学力学習状況調査の結果を踏まえた事業アイデア例及び「にいがた学びチャレンジ」を活用した校内研修を継続し、授業改善を推進します。（２）課題２の解決に向けてです。まず市や各学校の学力の実態を共有し、中学校区の小・中学校の教員で手立てを検討します。中学校区の小・中学校相互の授業参観やそれに基づいた情報交換を推進します。さらに小・中学校の学力向上に係る取り組みの好事例や、「村上市の授業づくり」に係る計画訪問における授業実践の具体を小・中学校で共有します。（３）課題３の解決に向けて、です。教師用・学習者用端末の計画的な入れ替えや不具合への対処など、ICT 機器を活用するための環境整備を推進します。また教科等の学びを深めるためのツールとして ICT 機器を活用できるように、授業での実践例

を共有します。さらに市による各種 ICT 研修会、ICT 支援員による学校訪問、提携業者によるヘルプデスクの設置などを通して、教員の ICT 機器の活用スキル向上を図ります。(4) 課題 4 の解決に向けてです。まず小・中学校ともに計画を立てたうえで、家庭学習に取り組むことを促します。具体的には終学活等にその日の家庭学習の計画を立てるプランニングタイムの実施や、中学校区における家庭学習週間やメディアコントロールの取り組みを今後も継続します。また家庭学習について各校の取り組みにおける好事例を共有します。さらに年度末の「家庭学習実施状況調査」において、各校の成果と課題を明らかにするとともに、各校における次年度に向けた具体的方策を設定してもらいます。そしてそれらを集約して、各校へ配布することで共有を図りたいと考えています。以上で説明を終わります。

遠藤教育長

はい、ありがとうございました。それでは初めにこの追加資料のことについては、情報交換の場で再度説明してください。

高橋指導主事

はい。

遠藤教育長

これはまず、今回ここでは話し合わないということにします。それから、訂正があった箇所、公表していかなければなりませんのでもう 1 回確認させていただきます。

12 ページの小学校の②算数、一番上、市の平均正答率は全国を大きく下回ったと「大きく」を入れる。同じく中学校の①国語、「大きく」下回った。それから②算数を数学に。同じく「大きく」下回った。この 4 ヶ所ですね。

高橋指導主事

はい。

遠藤教育長

では、それを踏まえまして、今回の結果、これで公表させていただくわけですが、ご質問等ございませんでしょうか。

大滝委員

今回こういう結果になったわけですが、この結果というのは、寝耳に水みたいな感じなのではないでしょうか。それとも、普段から今年はちょっと学力が弱いんじゃないかなというふうにある程度予測がついて、いるものなのでしょうか。

高橋指導主事

この全国学力学習状況調査も、先ほど教育長のお話あった NRT の結

果も、ここ2年、3年あたりから若干学力の低下がこう見受けられるような傾向になっているので、今回の結果もその流れになったのかなというふうに捉えております。

大滝委員 だいたいやっぱりそうだろうなという感じだったわけですね。

高橋指導主事 そうですね。

大滝委員 学力テストの結果に対して一喜一憂するというよりも普段から何かしらの対策をしていくとかということが、必要な気がするんですけども、どうなのでしょうかね。

高橋指導主事 学校訪問とかをさせていただくと、その教室の雰囲気の中で、なかなか学習に集中できないお子さんがいたりとか、それで教室環境がそういうふうになってしまっているところもあるので、ちょっと今後の取り組みのところで書かせていただきましたが、まずすべての子どもたちが、落ち着いて安心して学習ができるような環境づくりという視点を入れて、進めていかなきゃいけないというふうに考えていますので、あと、この間の市教委主催の学力向上研修会というのを、第1回目を開催し、各校の学力向上担当の先生方に出席いただきました。やっぱりその中学校区で、実態がどうなっているとか、授業をどう改善していくとか、どういう手立てがあるのかというのを、方向性を共有できたことがよかったと実際の声をもらったので、私自身も現場の先生方にそういう場を提供していくとか、用意していくということも今後必要になってくるのではないかなと考えて、今後の取り組みのところに入れさせていただきました。

大滝委員 わかりました。

遠藤教育長 中学校の令和4年度、5年度、6年度を見ますと、国語は、中学校の国語は4年、5年度大きくまでは下回っておりません。それが今回は大きく下回っております。それから、5年度の英語、これは恐ろしいくらい下回っております。県も下回ってるからいいじゃないかと思うけど、これは村上市が下回ってるから県も下回ってるんだと私は校長会で話しております。村上市が上がらなければ県も上がらない。ちょっと6年度は、心配な状況です。

遠藤教育長	よろしいでしょうか。 (意見無し)
遠藤教育長	それでは、議第 26 号について承認されます方は挙手をお願いいたします。 (全員挙手) ありがとうございました。議第 26 号は承認されました。
・議第 27 号 専決処分の承認を求めることについて	
遠藤教育長	次に、議第 27 号について上程します。説明をお願いします。
生涯学習課長	村上市図書館協議会委員の委嘱に係る専決処分について承認を求めるものです。令和 6 年 4 月 1 日付けで委嘱をしました藤本聡委員が 8 月 31 日付けで、選出団体であります新潟リハビリテーション大学を退職されたことに伴い後任として山倉辰裕氏の推薦がございましたので、9 月 1 日付けで委嘱をしたものでございます。なお任期につきましては前任者の残任期間となることから、令和 8 年 3 月 31 日までとしております。以上、お願いします。
遠藤教育長	何かお気付きの点はございませんか。 (意見無し)
遠藤教育長	それでは、議第 27 号について承認されます方は挙手をお願いいたします。 (全員挙手) ありがとうございました。議第 27 号は承認されました。
遠藤教育長	予定された議案について全て審議終了しましたが、その他ありますでしょうか。 (意見無し)
遠藤教育長	次回定例会の予定をお願いします。
学校教育課長	10 月の定例会ですが、10 月 24 日木曜日午後 4 時から教育情報センター 2 階多目的研修ルームにて開催したいと思います。

遠藤教育長 各委員に確認し、全員了承する。

遠藤教育長 以上をもちまして、令和6年村上市教育委員会9月定例会を終了します。

午後4時13分閉会

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

教 育 長 _____

会議録署名委員 _____

会議録署名委員 _____